

# 福祉ひろば

情報紙 第168号

[構成会員団体] 連合大分／主要産別・単組／労働金庫／こくみん共済 coop／総合生協／県生協連／勤労者医療生協  
労働福祉会館／やすらぎ園／大分県消費者問題ネットワーク／大分コープ商事／地区労福協／分退連

一般社団法人  
**大分県労働者  
福祉協議会**

大分市中央町4-2-5

ソレイユ6F

☎(097)533-1106

発行人／小畠 三利

**新年あけまして、おめでとうございます**



## 2023年 年頭あいさつ

一般社団法人  
**大分県労働者福祉協議会**

理事長 小畠 三利

明けましておめでとうございます。会員の皆様をはじめ、構成組織の組合員・家族の皆様に謹んで新春のお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が日本で初めて確認されてから3年が経過しました。この間、私たちの生活様式を一変させ、格差や貧困、社会の分断、コロナ差別を引き起こし、将来を見通すことができない不安・不満な状況を作り出していました。さらには、セーフティネットの脆弱さを浮き彫りにしたことからも、公的支援の強化を求め、安心して暮らせる社会にむけて継続的な取り組みが重要となっていました。

さて、私たち労働者福祉協議会が歩んできた道のりを少し振り返ってみると、1949年戦後の食糧危機と生活物資不足の中、「福祉の充実と生活向上」をめざして、組織の枠やイデオロギーの違いを乗り越えて、「福祉はひとつ」の精神

のもと、労働団体と生協が力を合わせて「労務者用物資対策中央連絡協議会」を発足させました。その後、労働者の労働者による労働者のための「労働金庫」や「全労済（こくみん共済 coop）」を設立し、働く人たちの福祉（幸せ）の実現に向けて、様々な労働者自主福祉運動を取り組んできました。

国連は、2015年に「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択し、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」を掲げました。

我が国においても、2030年までに貧困に終止符を打ち、誰ひとり取り残さない包摂的で持続可能な社会を実現するため、様々な取り組みが動き出しています。

私たち労働者福祉協議会においても、2030年めざす社会像として、「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくる」という理念を掲げ、貧困や社会的排除がなく、人と人のつながりが大切にされ平和で、安心して働き暮らせる持続可能な社会をめざし運動を展開しています。

今年は卯（うさぎ）年です。「飛躍」「向上」を象徴するものと言われています。

すべての働く皆さんとともに、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、今年もともにがんばりましょう。

## 2023年度大分県当初予算に関わる要請書提出

大分県労福協は、労働者福祉に関する2023年度大分県予算編成に向けた要請行動を11月11日（金）、大分県庁本館・71会議室において大分県労福協四役を中心に行いました。大分県労福協・小畠理事長が要請書を大分県商工観光労働部・利光部長に手渡し、滝口専務理事より大分県労福協関連15項目（多重債務対策、ライフサポートセンター、奨学金問題など40点）を提起。引き続いて、福祉事業団体団体から2項目の要請趣旨の説明の後、利光商工観光労働部長より要請書に関する口頭回答の後、意見交換会を行い、12月16日（金）までに文書による回答を求めました。



## 2022年度食と文化・健康教室(ウォーキング)の開催

大分県労福協と宇佐高田地区労福協は合同開催で、地域の食と文化・史跡探訪・健康増進を目的に11月19日（土）・豊後高田市「昭和の町周辺」において2022年度食と文化・健康教室（ウォーキング）を会員団体、地区労福協、一般市民など168名が参加する中で開催しました。ウォーキングに先立ち主催者あいさつを大分県労福協の小畠三利理事長、開催地歓迎あいさつを豊後高田市長の佐々木敏夫氏、宇佐高田地区労福協の永松敏行会長からあり、実施要項などの説明の後、2.2kmと7kmコースに分かれてスタートしました。当日は未就学児から80代まで幅広い年齢層の参加でしたが、無事に終了することができました。ご協力をいただきました宇佐高田地区労福協、豊後高田市職員労働組合・豊後高田市の皆さん、ありがとうございました。

## 2022年度リーダー育成研修会の開催

大分県労福協は2022年12月10日（土）大分市中央町ソレイユ6F「カトレア」において、「2022年度リーダー育成研修会」を会員団体（連合大分・労働団体、福祉事業団体）・地区労福協から74名が参加する中で開催しました。本講座は、労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史の伝承者として、職場や地域で労働運動・労働者福祉運動のリーダーの育成を図ることを目的に行いました。講師に中央労福協の南部美智代事務局長を迎え、「労福協これまでとこれから～つながる・寄りそう・支え合う～」と題して講演が行われ、参加した会員団体・地区労福協の役員、組合員、職員は熱心に耳を傾けていました。

**労働相談 生活相談 法律相談 福祉・医療相談 消費生活相談 一人で悩まない、あきらめない、まずは相談を！**

**大分県労福協ホームページ** <http://oita.rofuku.net/> **大分地区ライフサポートセンター** (大分・由布エリア) **別府・杵葉・國東・日出・姫島エリア** **県ライフサポートセンター** (県北・県南・豊肥・久大エリア) **097-538-3155** (平日9時~5時) **097-26-3155** (平日9時~5時) **097-538-3211** (平日9時~5時)





## 新年のご挨拶

こくみん共済 coop 大分推進本部 本部長  
大分県総合生協理事長

小畠 三利  
(おばたけ みとし)

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健やかに新年を迎えたこととお慶び申し上げます。

また、平素よりこくみん共済 coop 大分推進本部の活動に対して格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、2020年1月に国内初の感染者が確認されてから3年が経過し、2022年9月より感染者数の全数届出の見直しの実施や、2022年10月から全国旅行支援が開始されるなど、少しずつこれまでの生活を取り戻しつつあります。しかしながらウイルス株の変異により、感染者数の高止まりが続くなど、未だに制限のある日常生活が続いている状況です。

また、2022年は1月の日向灘を震源とする地震や、2022年9月に九州に上陸した台風14号の災害に対し、一日も早い共済金の支払いに努めました。

この間、新型コロナウイルス感染症で影響を受けられた皆さま、被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、少しでも早く日常生活に戻られることをお祈り申し上げます。

2023年は、「『新しいたすけあい』を実践し、事業の持続的成長と運動の発展をはかる」ことを目的とした「中期経営政策 2022-25 ~変革と創造~」の初年度になります。私たちは、その期間の取り組みを通じて、めざす姿への変革に挑戦し、環境が変化する中において、「お役立ち発想」と「共創活動」にデジタル技術を取り入れた「新しいたすけあい」を創造・実践していきます。

加えて、共済事業を核に、運動を広め、理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の実現をめざすため、New-Zetwork 期間中の取り組みを継承しながら、大分推進本部としてのめざす方向性と取り組みの柱を定め、その柱にもとづいた2023年の推進活動を行います。

今後も私たちこくみん共済 coop は、労働者福祉事業団体として「働く者の生活水準の向上」「福利厚生の充実」の実現に向けて、組合員へのお役立ちとなるような活動を行っていくため、役職員が一丸となって努力してまいりますので、皆さまのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして実り多き一年となりますことを心からご祈念申し上げます。

こくみん共済 coop  
NEWS  
[4422Z008]

「たすけあいの輪をむすぶ」  
こくみん共済 coop は、  
次のステージへ



謹賀新年

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済 <全労済>

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にともづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。





明けまして、おめでとうございます。新年を迎えるにあたって、連帯と協同組合間連携を推進する立場から、一言ご挨拶申し上げます。

大分県生協連に加盟している会員生協では、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」で掲げられた“誰ひとり取り残さない、誰もが安心してくらし続けられる地域社会の実現”に向けて、全国の生協と一緒に「コープSDGs行動宣言」を特別決議し、「持続可能な都市」「つくる責任、つかう責任」「健康・福祉」「貧困をなくそう」「平和」「エネルギー・気候変動」「ジェンダー（平等）」の7つの目標に取り組んでいます。

地域が抱えている課題は、自治体はもとより、生協やNPO法人などの地域諸団体が連携していくことが何より大切になります。大分県生協連には、地域購買生協、職域生協、医療・福祉生協の12生協が加盟しており、くらしのさまざま分野で事業や活動を展開し

ています。これらの事業や活動を効果的に活かしていくには、組合員だけでなく、地域社会からも、生協に対する深い理解と温かい支援が欠かせません。みなさまのご支援をよろしくお願ひ致します。

2020年1月に発生した新型コロナウイルス感染症は、2021年度からワクチン接種が開始されたものの、変異ウイルスへの対応は未知であり、引き続きウイズコロナの暮らしを余儀なくされています。

2022年2月に始められたロシアによるウクライナ侵略は批判を浴びたものの、戦争は長期に及び、ガソリン・食料・エネルギー等の高騰を引き起こし、日本を含む全世界に大きな影響を及ぼしています。

また、地球温暖化に伴う気候変動が大きく影響し、台風の規模も頻度も増え続け、地震や津波などと併せ、大規模な災害は毎年のように発生しています。大分県生協連では、大分県と「大規模災害時における応急支援物資の調達に関する協定」を締結し、災害時の復旧支援、復興支援活動にも参加しています。県行政とは、平時からの関係を強化し、災害時に役立つ関係性を構築していきたいと考えています。

最後に、大分県生協連と最大の友好関係である大分県労働者福祉協議会とは、これまで以上の関係を築き、大分県民のみなさんから、高い支持と厚い信頼が得られる団体になりたいと願っています。今年も一年、どうぞよろしくお願ひいたします。

## 第27回大分県生協大会(役職員研修会)を開催

新型コロナウイルス感染症により2年間中止を余儀なくされていましたが、2022年11月16日(水)15時より大分市ソレイユで開催し、12会員生協から73名(理事・監事含む)が参加しました。青木博範会長理事より主催者あいさつの後、早速、講演に入りました。

講演 「ALPS処理水海洋放出の問題と今後の対応」

講師 宮戸義広氏(コープふくしま 本部長)

要旨①2015年、政府・東京電力・地元漁業者は、処理水は「関係者の理解なしに処分しない」と文書で約束

②2021年4月、菅総理は、約束を反故にし、汚染水(ALPS処理水)の海洋放出を決定、放出は2年後と計画

③この後、みやぎ生協・コープふくしま・福島県生協連・宮城県生協連・宮城県漁協の4者で反対署名開始

④全国でオンライン学習会・署名活動、2022年3月、東京電力・経産省に17万9,093筆の署名を提出

⑤現在も学習会と署名活動を展開中。問題点等の問合せは大分県生協連(097-527-4056河原専務)まで



## 第33回県生協連スポーツ交流会(ボウリング大会)を開催

会員生協間の交流を深めることを目的に毎年スポーツ交流会を開催しています。2022年度もボウリング大会を継続し、新型コロナウイルス感染予防措置を講じるとともに、参加規模を縮小(1レーン2~3人制)して、2022年11月19日(土)に大分市明野OBSボウルで開催、11会員生協から68名が参加しました。

全員に飲物と参加賞を配布し、県生協連河原専務理事の開会挨拶、始球式の後、一人2ゲーム合計点の個人戦を行い、コープおおいたの朝倉さんが初優勝、1位~5位、5飛び賞等で18人が入賞しました。表彰式は、新型コロナウイルス感染予防のため人数を制限しましたが、参加者からは、「コロナ禍の中、楽しく交流できました、来年も是非開催してほしい」との声をいただきました。





明けましておめでとうございます。

会員の皆様には謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、旧年中に賜りました大分県勤労者医療生協へのご支援に対し深く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大から3年が経過しました。これまでの間、次々と変異しながら感染力やワクチンの効果などに影響を与え猛威を振るい、繰り返される緊急事態宣言等により日本社会の景気は大きく衰退することとなりました。特に医療・福祉の分野においては、感染拡大により増え続ける感染者への対応、その先に見える医療崩壊への懸念など未だに厳しい状況が続いています。

大分県勤労者医療生協では、2022年も引き続き会員皆様や地域の皆様のいのちと健康を守るために大分協和病院、佐伯診療所それぞれにおいて、発熱外来患者の対応、PCR検査、新型コロナワクチン接種に積極的に取り組んだ1年でした。また、訪問看護・介護・介護支援センターにおいてもコロナ禍で取り組める最大限の利用者支援をおこなってきたところです。まだしばらくは計り知れない負担が続くものと感じていますが、安心と信頼できる医療の提供および生協活動を将来にわたって引き継いでいくためには、今、みなさんとともにこの厳しい状況を乗り越えていかなければならぬと思っています。

私たちを取り巻く情勢は、少子化による人口減少、人生100年時代といわれる超高齢社会による医療・福祉を含めた社会保障制度や年金制度の動向など課題は山積していますが、引き続き「働く者の命と健康を守るとともに、通常の医療が充分いきとどかないといわれる労災職業病や難病患者を守る砦になる」という理念のもと、さらに協同の輪を広げ、大分県勤労者医療生協の発展に努力してまいります。

皆様には2023年も変わらぬご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員そしてご家族皆様にとってよき一年となりますよう心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

**～平和と暮らし、いのちと健康を守ろう～**

## 気をつけて！ こんな時に腰痛が発生

立ち作業で腰痛を起こしやすいのが中腰姿勢。

前屈姿勢を維持するためには体重の約65%にある上半身を支える必要があります。

例えば40度の前屈姿勢を維持するためには体重の約1.5倍の背筋力が必要になります。

この姿勢で重量物を持つとギックリ腰を起こすリスクが高いので注意しましょう。



**必要な背筋力**

← **体重の1.5倍**

日本人は椅子に座っている時間が世界第1位であるのご存じでしょうか？仕事でも家庭でも長時間座りすぎている結果、腰痛の発生頻度が高くなります。

職場では1時間に1回、自宅では30分に1回は立って1~3分程度歩くだけでも腰痛予防の効果があります。

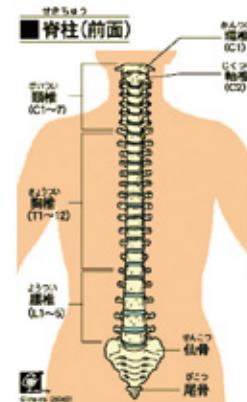
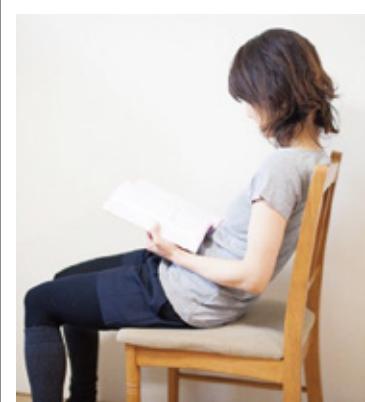
腹筋運動で腰痛が改善することはほとんどありません。反対に悪化する場合がありますので注意しましょう。

腰痛予防のための腹筋運動を行う場合は専門の理学療法士に相談してください。

### 仙骨座りは要注意

長時間椅子やソファに座るとお尻が前方に滑り、背もたれにもたれかかるような姿勢になります。これを仙骨（せんこつ）座りといいます。

座っている姿勢で一番腰痛を起こしやすい姿勢を頭に入れておきましょう。





## 新年のご挨拶

九州労働金庫 大分県本部

本部長 佐藤 寛人

あけましておめでとうございます。会員の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もよろしくお願ひいたします。

さて、九州ろうきん大分県本部は、「大分県労働金庫」創設から70年の歴史を刻み、今まで、新たな歴史を歩み始めました。ろうきんの理念の冒頭に「ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。」とあります。

この目的実現に向けて、九州ろうきんは、ピンクリボン運動への支援(乳がんの早期発見・治療)、オレンジリボン運動との連帯(児童虐待防止)、児童養護施設への図書の寄贈、NPO法人などの社会貢献団体への助成などの取り組みを進めています。

先日、退職・現職ろうきん職員有志で組織する「むぎの会」主催の「芋ほり集会」に参加しました。県内の児童養護施設の子どもたちの歓声が南端の山間にこだました。関係者や「むぎの会」の皆さんとのバックステージでの支えは言うまでもありません。

その「むぎの会」の思いが込められた詩「竹のように」(竹中郁:作)があります。

のびろ のびろ  
まっすぐ のびろ  
こどもたちよ  
竹のように のびろ

風をうけてさらさらと鳴れよ  
日をうけてきらきらと光れよ  
雨をうけたらじっとしてろ

雪がつもればいっそうこらえよ  
石をなげつけられたらかちんとひびけ  
ぐんぐん根をはれ  
土の中でその手とその手を  
がんじがらめににぎりあえ  
竹 竹 竹 竹のように  
のびろ  
五月のみどりよ もえあがれ



「将来はこんな仕事をしたい。」「こんな人になりたい。」など、まだ来ぬ将来の姿を子どもたち1人ひとりが、描けるような社会を展望していく役割の一端を私たちろうきん大分県本部は担っています。私たちの取り組みは、微力ではありますが、その人にとっては光り輝くものとなるよう、福祉金融機関としての役割を職員一丸となって果たしていきます。

2023年も会員組織並びに組合員とその家族の皆様とともに歩むことを申し上げて、年頭のご挨拶とします。

## 新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、大分県労働者福祉協議会に結集する皆様から、多くのお力添えいただき誠にありがとうございました。

大分県総合生協グループの公益財団法人「やすらぎ霊園」は、自然豊かな解放感あふれる心が落ち着くところです。また、高齢者や車椅子の方も安心してご利用いただける開かれた霊園です。

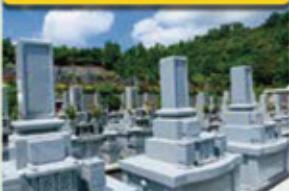
自然と調和のとれた墓地造成を基本として、花木・樹木を多く植栽し、緑化に努めています。お墓の種類も豊富で、規格墓地・自由墓地・なごみ・花のお墓地・樹木墓地・芝生墓地・納骨堂・永代供養墓と、さまざまなお客様のニーズにお応えできるところです。また、水場や休憩舎、霊園内の清掃や供養後のお花の撤去など、充実した施設と安心の管理体制になっています。

本年も、お客様の家族の絆や想いが、いつも詰まっている場所になるよう努めてまいりますので、皆様のより一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

おわりに、本年が皆様にとりまして幸せの多い一年となりますようご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

「やすらぎ霊園」役職員一同

### 規格墓地



同じ形のお墓が並びます。和型と洋型、永代と有期限契約があります。

### 自由墓地



お客様の好きなデザインで建てるお墓です。永代契約です。

### 芝生墓地



芝生一面に並ぶお墓で、和型と洋型、規格と自由があり、永代契約です。

### 樹木墓地



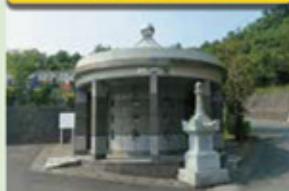
好きな花木の下で眠るお墓で、33年契約です。規格のお墓です。

### 花のお墓



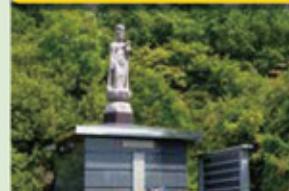
花に包まれて眠るお墓です。規格と自由、永代・有期限契約をご用意しました。

### 納骨堂



全国どこからでもお預かりします。契約満了後は無料で永代供養墓に合祀します。

### 永代供養墓



全国どこからでも、永代にわたりお預かりします。合祀のお墓です。

### なごみ



1.25mのコンパクトなお墓。ご夫婦お二人や少人数のご家族にピッタリです。



公益財団法人  
**やすらぎ霊園**

詳しくは [やすらぎ霊園](#) 検索  
大分市大字竹中字上長谷613番地の1 TEL.097-598-0100